全画像に印刷設定を行う

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"DPOF"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"全画像"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は"00"にしてください。

5. 日付を印刷したい場合は【DISP】を押してを表示させます。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押して![]を消してください。

6. 【SET】を押します。

PRINT Image MatchingⅡについて

本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。PRINT Image MatchingⅡ対応プリンタでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image MatchingⅡに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

Exif Printについて

Exif Print (Exif2.2) は、対応プリンタをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。

重要! • 対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、各プリンタメーカーへお問い合わせください。

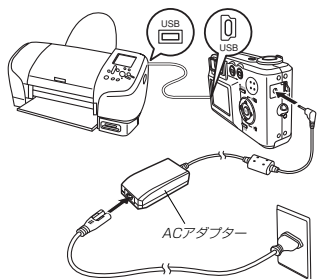
USB DIRECT - PRINTについて

本製品はセイコーエプソン株式会社提唱のUSB DIRECT - PRINTに対応しています。本製品はUSB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。

DPOF機能(79ページ)にて登録した情報をもとに、本機をUSB DIRECT - PRINT対応プリンタにUSBケーブルを介して接続するだけで、印刷することができます。

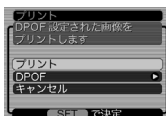
重要! • USB DIRECT-PRINTで印刷する場合、別売のACアダプター(AD-C30)が必要です。

1. DPOF機能(79ページ)で、印刷したい画像をあらかじめ指定します。

2. カメラに別売のACアダプターを接続して、カメラに電源を供給します。
- USBケーブルからは電源は供給されません。

3. カメラに付属のUSBケーブルでカメラとプリンタを接続します。

4. プリンタの電源を入れます。

5. プリンタの印刷用紙をセットします。

6. カメラの【電源ボタン】を押します。
- カメラにプリントメニューが表示されます。

【電源ボタン】

7. カメラのプリントメニューから"プリント"を選び、【SET】を押します。
- DPOF機能で指定した画像が自動的に印刷されます。
- もう一度印刷する場合は、【電源ボタン】を押し直してください。
- DPOFの設定をしていない場合はメッセージが表示され、DPOFの設定画面(79ページ)が表示されます。このときは、DPOFの設定を行ってから、もう一度プリントの操作を行ってください。
- カメラのプリントメニューで"DPOF"を選び、【SET】を押すとDPOFの設定ができます(79ページ)。

8. 印刷が終了したら電源が切れますので、カメラを外してください。

重要!
- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、プリンタメーカーへお問い合わせください。
- 印刷中はケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。プリンタがエラーを起こすことがあります。
- 印刷を中止したいときは、プリンタ側で操作してください。
- 印刷中でも、しばらくするとカメラの【液晶モニター】が消えます。このとき印刷が終了したとは限りません。印刷の終了はプリンタ側で確認してください。

お気に入りフォルダの使いかた

記録した思い出の風景や家族の写真など好きな静止画を「記録フォルダ」(109ページ)から内蔵メモリーの「お気に入りフォルダ("FAVORITE"フォルダ)」(109ページ)にコピーすることができます。通常の再生では表示されないので、プライベートな画像を持ち歩くのに便利です。メモリーカードを入れ替えても画像は消えませんので、いつでも見ることができます。

お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押します。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のファイル名が表示されます。

4. 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダに登録したいファイルを選びます。

5. 【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押します。
- 内蔵メモリー内のお気に入りフォルダにファイルを登録します。

6. 設定を終えるには【▲】【▼】で"キャンセル"を選び、【SET】を押します。

参考
- 画像は、320×240pixelsのQVGAサイズにリサイズしてコピーされます。
- 登録したファイルには、連番(0001〜9999)がファイル名として自動的に付けられます。ただし、登録できるファイル数は画質等により異なり、内蔵メモリーの空き容量の範囲内となります。

お気に入りフォルダのファイルを表示する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"表示"を選び、【SET】を押します。

4. 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダに登録したファイルを見ていきます。
【▶】を押す:進みます。
【◀】を押す:戻ります。

ファイル名

5. 表示を終えるには【MENU】を2回押します。

参考
- 【◀】【▶】を押し続けると、画像は早く送られます。

重要!
- お気に入りフォルダ("FAVORITEフォルダ")は内蔵メモリーにのみ作成されるため、パソコン上でお気に入りフォルダのファイルを表示するときは、カメラからメモリーカードを取り出した状態で、USB通信を行ってください(99、109ページ)。

お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"表示"を選び、【SET】を押します。

4. 【▼】(⚡ 🗑)を押します。

5. 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダから消去したいファイルを選びます。

6. 【▲】【▼】で"消去"を選び、【SET】を押します。
- 消去を中止したいときは"キャンセル"を選んでください。

7. 消去を終えるには【▲】【▼】で"キャンセル"を選び、【SET】を押します。

重要!
- お気に入りフォルダのファイルは、75ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(94ページ)を行うと、消去されてしまいます。

お気に入りフォルダの全ファイルを消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"表示"を選び、【SET】を押します。

4. 【▼】(⚡ 🗑)を押します。

5. 【▲】【▼】で、"全ファイル消去"を選び、【SET】を押してすべてのファイルを消去します。

重要!
- お気に入りフォルダのファイルは、75ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(94ページ)を行うと、消去されてしまいます。

その他の設定について

ファイルの連番のカウント方法を切り替える

撮影時にファイル(画像データ)に付く連番(77ページ)のカウント方法を切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ファイルNo."と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

メモリする:今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

メモリしない:ファイルの連番は記憶せずに、最大の連番+1からファイル名を付けます。

操作音のオン/オフを切り替える

操作音(BEEP音)のオン/オフを切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"操作音"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入:操作音が鳴ります。
切:操作音は鳴りません。

起動画面のオン/オフを切り替える

RECモードで電源を入れたとき、カメラが記録している画像を起動画面として、【液晶モニター】に約2秒間表示するかどうかを切り替えることができます。【電源ボタン】または【📷】(REC)を押したときのみ表示されます。【▶】(PLAY)を押したときは表示されません。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"起動画面"と選び、【▶】を押します。

3. 【◀】【▶】で起動画面にしたい画像を選びます。
- 設定可能な画面は、静止画および、2秒以下、200KB以下のムービー画像です。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入:設定時に表示していた撮影画面を起動画面として表示します。
切:起動画面は表示しません。

重要!
- 起動画像に設定した撮影画像(静止画/ムービー画像)は、起動画像メモリーに登録されます。このメモリーには、画像は一つしか登録できません。起動画面を別の撮影画像に変更すると、メモリー内の画像は上書きされてしまいますので、変更する前の撮影画像に戻すときは、変更する前の画像データが必要となります。また、起動画像に登録した撮影画像(静止画/ムービー画像)を、設定画面から消去することはできません。

エンディング機能を設定する

カメラの電源を切るとき、カメラに記録した画像をエンディング画面として表示する機能です。カメラで撮影した静止画や動画をエンディング画面として設定できます。

エンディング機能を設定する

1. カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(99ページ)。

2. エンディング画面として使用する画像データを、内蔵メモリーのルートディレクトリ(第一階層)に入れます。

Windowsの場合

Macintoshの場合

- ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっていると拡張子は表示されません。例：CIMG0001
- メモリーカードをご使用の場合は、カメラからカードを抜いてからファイルをコピーしてください。

3. 画像データのファイル名を次のように変更します。

静止画の場合：ENDING.JPG
動画の場合　：ENDING.AVI

Windowsの場合

Macintoshの場合

- ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっている場合は、拡張子(.JPGや.AVI)を入れないでください。例：ENDING

以上で設定が完了しました。内蔵メモリーをお使いの場合でもメモリーカードをお使いの場合でも【電源ボタン】を押して電源を切る前にエンディング画面が表示されます。

重要!
- 静止画(JPEG)、動画(AVI)のみ設定可能です。
- カメラで撮影した画像がエンディングの対象となります。他の画像が入っているとエンディング機能が動作しない場合があります。
- 内蔵メモリーをフォーマットするとエンディング画面に設定されたファイルも削除されます。
- 静止画と動画の両方がエンディング画面として設定されている場合は動画がエンディング画面として選択されます。
- エンディング画面を途中で止めることはできませんので、動画をエンディング画面に設定される場合は、時間の短いものをおすすめします。

エンディング機能の設定を解除する

1. カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します。

2. 内蔵メモリーに入れたＥＮＤＩＮＧ．ＪＰＧまたはENDING.AVIのファイル名を変更するか、画像データを削除します。

アラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、同時に指定した画像を表示できます。最大3つの時刻を設定できます。

アラームを設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"アラーム"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定したいアラームを選び、【▶】を押します。

4. 【◀】【▶】で項目を選び、【▲】【▼】で設定内容を選びます。

- 時刻、1回／毎日、オン／オフが設定できます。

5. 【DISP】を押します。

- ここで【SET】を押してもアラームの設定を終えることができます。

6. 【◀】【▶】で表示したい画像を選び、【SET】を押します。

7. 内容を確認して【SET】を押します。

- アラームの優先順は設定1、設定2、設定3です。

アラームを止める

アラームは電源をオフにした状態で、設定した時刻になると約1分間鳴り続けます。その後、電源オフの状態に戻ります。途中で止めたい場合は、何かボタンを押してください。

重要!
- アラームは次の場合は鳴りません。
  – 電源がオンになっている
  – USB通信中

日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイム(自宅の日時)を設定してから、日時の設定を行います。

重要!
- 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に正しく設定しないとワールドタイム(92ページ)の日時が正しく表示されませんのでご注意ください。

ホームタイムの都市を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。

- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"自宅"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で"都市"を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅の地域を選び、【SET】を押します。

6. 【▲】【▼】で自宅の都市を選び、【SET】を押します。

- 日本で使う場合は"Tokyo"を選んでください。

7. 【SET】を押して、設定を終了します。

ホームタイムの日時を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"日時設定"と選び、【▶】を押します。

3. 日付と時刻を合わせます。

【▲】【▼】：カーソル(選択枠)の部分の数字などを変えます。
【◀】【▶】：カーソル(選択枠)を移動します。
【DISP】：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。

4. 【SET】を押して、設定を終了します。

日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"表示スタイル"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

例) 2003年10月23日
年／月／日：03/10/23
日／月／年：23/10/03
月／日／年：10/23/03

ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

ワールドタイムを表示させる

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。

- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選びます。

自宅　：購入時に設定した自宅の日時を表示します。
訪問先：訪問先として設定した都市の日時を表示します。

4. 【SET】を押して、設定を終了します。

ワールドタイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。

- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選び、【▶】を押します。

- 自宅の都市について設定する場合は、"自宅"を選びます。

4. 【▲】【▼】で"都市"を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で訪問先の地域を選び、【SET】を押します。

6. 【▲】【▼】で訪問先の都市を選び、【SET】を押します。

- 現在設定されている内容が表示されます。

7. 【SET】を押して、設定を終了します。

サマータイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選び、【▶】を押します。
- 自宅の都市について設定する場合は、"自宅"を選びます。

4. 【▲】【▼】で"サマータイム"を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選びます。

入：サマータイムになります。
切：通常の時刻になります。

6. 【SET】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

7. 【SET】を押して、設定を終了します。

表示言語を切り替える

画面のメッセージを10の言語の中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"Language"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押します。

日本語　：日本語
English　：英語
Français　：フランス語
Deutsch　：ドイツ語
Español　：スペイン語
Italiano　：イタリア語
Português：ポルトガル語
中國語　：中国語(繁体)
中国语　：中国語(簡体)
한국어　：韓国語

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

重要!
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(78ページ)をかけていても、内蔵メモリーをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。
- お気に入りに登録した画像(84ページ)や、ベストショットモードでカスタム登録した内容や、起動画面、エンディング画面についても消去されますのでご注意ください。

1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認します。
- もしもメモリーカードが入っている場合は、取り出してください(96ページ)。

2. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

3. "設定"タブ→"フォーマット"と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で"フォーマット"を選び、【SET】を押します。
- フォーマットを実行しないときは、"キャンセル"を選んでください。

メモリーカードを使用する

本機は、市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC〈マルチメディアカード〉)を使用することにより、記録用のメモリーを拡張することができます。また、内蔵メモリーからメモリーカードに、またはメモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーすることもできます。

- ファイルが記録されるメモリーは、次のように自動的に切り替わります。

メモリーカードを入れていないときは	→	内蔵メモリーに記録されます。
メモリーカードを入れているときは	→	メモリーカードに記録されます。

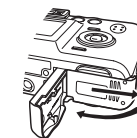
- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

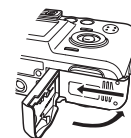
重要!
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。
- メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
- カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。

メモリーカードの使いかた

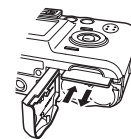
メモリーカードを入れる

1. 本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。

2. メモリーカードの裏面を上(【液晶モニター】側)にして、【メモリーカード挿入口】にしっかり押し込みます。

表面　裏面

3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。

メモリーカードを取り出す

1. メモリーカードを押すと、メモリーカードが少し出てきます。

2. メモリーカードを引き抜きます。

重要!
- 故障の原因となりますので、【メモリーカード挿入口】にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- 【動作確認用ランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する場合があります。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

重要!
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。
- メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(78ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。

2. 電源を入れ、RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

3. “設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押します。
- フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

メモリーカードのご注意

- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード)を使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。
また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ(http://www.casio.co.jp)をご覧ください。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。
- 万一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードを持たれることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめいたします。
- フォーマットの操作を行うときは、充電式電池をフル充電状態にしてから行ってください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

ファイルをコピーする

内蔵メモリーとメモリーカードの間で、ファイルをコピーすることができます。

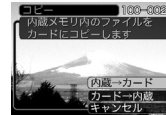
重要!
- コピーできるのはカメラで撮影した静止画、動画ファイルだけです。その他のファイルはコピーできませんので、ご注意ください。

内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする

ファイルのコピーは、一括で行われます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。

2. 電源を入れ、PLAYモードにして【MENU】を押します。

3. “再生機能”タブ→“コピー”と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で“内蔵→カード”を選び、【SET】を押します。
- コピーが始まり、“処理中です　しばらくお待ちください”と表示されます。
- コピーが終わると、コピーしたフォルダの一番最後にあるファイルを表示します。

メモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーする

ファイルのコピーは画像を確認しながら、1枚ずつ行います。

1. 「内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする」の手順1～3と同じ操作を行います。

2. 【▲】【▼】で“カード→内蔵”を選び、【SET】を押します。

3. 【◀】【▶】でコピーしたいファイルを選びます。

4. 【▲】【▼】で“コピー”を選び、【SET】を押します。
- コピーが始まり、“処理中です　しばらくお待ちください”と表示されます。
- コピーが終わると、コピー前に表示していたファイルに戻ります。
- 手順3～4をくり返して、他の画像をコピーすることができます。

5. 【MENU】を押して、コピーの操作を終了します。

参考
- ファイルは内蔵メモリー内の一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

パソコンでファイルを見る

このカメラは、USBケーブルを介してUSB端子を備えたパソコンと接続して、パソコンでファイルを見たり、保存することができます。USB接続を行うには、使用するパソコンによっては付属のCD-ROMからUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。ただし、MacintoshではUSBドライバをインストールする必要はありません。

お持ちのパソコンがWindowsの場合

パソコンにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

1. Windows98/Me/2000を使っている場合はUSBドライバをパソコンにインストールする。
   - 初めて使用するときだけ必要です。
   - Windows XPの場合はインストールの必要はありません。

2. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する。

3. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

重要!
- USBケーブルを使用してパソコンと接続する場合は、別売のACアダプター(AD-C30)が必要です。ACアダプターを使用せずに、カメラの電源が本体の電池のみで接続、ファイルの転送を行なった場合、電池が消耗して転送が途絶えると、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。
- USBドライバをインストールする前に、カメラをパソコンに接続しないでください。
- 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

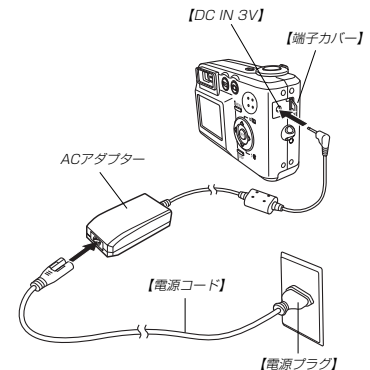
1. Windows98/Me/2000をお使いの場合は、操作2へ進んでください。WindowsXPをご使用の場合は、USBドライバをインストールする必要はありませんので、操作6に進んでください。
- この操作手順はWindows98をもとに制作されています。

2. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

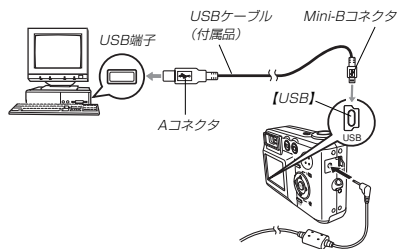
3. MENU上の“Language”の「日本語」をクリックします。

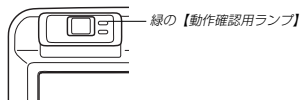
4. 「USB driver」の「インストール」をクリックします。
- インストールが開始されます。

5. セットアップ完了の画面が出たら「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をチェックして「完了」をクリックし、パソコンを再起動させます。

6. 別売のACアダプター(AD-C30)をカメラの【DC IN 3V】と家庭用コンセントに接続します。

7. **カメラの電源を入れます。**

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

8. **付属のUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続します。**

- 「新しいハードウェア…」とダイアログが表示され、自動的にカメラ内のメモリーカードまたは、内蔵のメモリーが認識されます。次回からはパソコンとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードまたは、内蔵のメモリーを認識します。

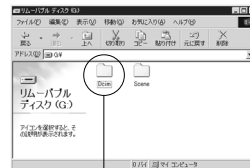
- カメラの緑の【動作確認用ランプ】が点灯します（125ページ）。

- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブル　ディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。
- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

9. **「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

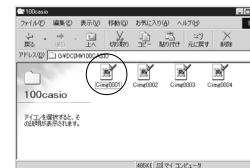
10. **「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。**

- メモリーカードまたは、内蔵のメモリーは「リムーバブルディスク」として認識されています。

リムーバブルディスク

11. **「Dcim」フォルダをダブルクリックします。**

Dcim

12. **見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックします。**

13. **見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。**

- ファイル名については「メモリー内のディレクトリ構造」（109ページ）を参照ください。

14. **ファイルを保存する場合は「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを「マイドキュメント」にドラッグアンドドロップします。**

- 「Dcim」フォルダ（画像ファイルが保存されているフォルダ）が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

重要! • カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

15. **USB接続を終えます。**

- WindowsMe/98/XPの場合：
  カメラの【電源ボタン】を押して、緑の【動作確認用ランプ】が消灯したのを確認してから、カメラを取りはずします。
- Windows2000の場合：
  パソコン画面上のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、カメラを取りはずし、カメラの電源を切ります。

USB接続時のご注意

- 必ずカメラにACアダプターを接続して、カメラの電源を供給してください。
- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象（画面焼け）を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

お持ちのパソコンがMacintoshの場合

Macintoshにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

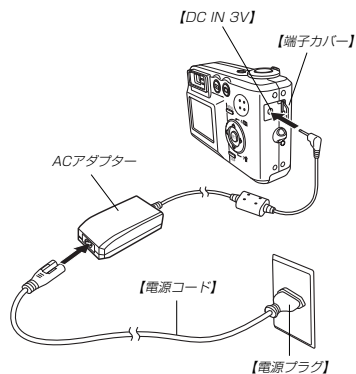
重要! • Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2以降)では、OS標準のUSBドライバーを使用します。

1. カメラとMacintoshをUSBケーブルで接続する。

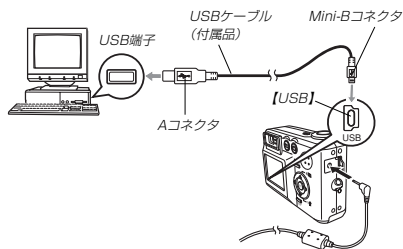
2. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

重要!
- USBケーブルを使用してパソコンと接続する場合は、別売のACアダプター（AD-C30）が必要です。ACアダプターを使用せずに、カメラの電源が本体の電池のみで接続、ファイルの転送を行なった場合、電池が消耗して転送が途絶えると、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。
- 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

1. **別売の ACアダプターをカメラの【DC IN 3V】と家庭用コンセントに接続します。**

2. **カメラの電源を入れます。**

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

3. **付属のUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続します。**

- カメラ内のメモリーカードまたは内蔵のメモリーがドライブとして認識されます。

- Mac OS のバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。
- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

4. **表示されたドライブ→「DCIM」フォルダ→見たい画像の入ったフォルダの順でダブルクリックします。**

5. **見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。**

- ファイル名については「メモリー内のディレクトリ構造」(109ページ)を参照ください。

6. **ファイルを保存する場合は「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップします。**

- 「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

重要! • カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

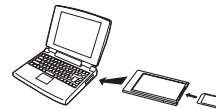
7. **USB接続を終えるには、画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップします。その後、カメラをUSBケーブルから取りはずし、カメラの電源を切ります。**

USB接続時のご注意

- 必ずカメラにACアダプターを接続して、カメラの電源を供給してください。
- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

パソコンでいろいろなことができます

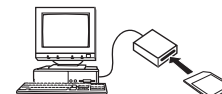
撮影画像をパソコンでさまざまに活用することができます。活用方法については、下記のページを参考にしてください。

- アルバム形式で見たい
  ....「アルバム機能」(111ページ)
- アルバム形式で印刷したい
  ....「アルバム機能」(111ページ)
- 画像を自動取り込み／管理したい
  ....「ソフトをインストールする」(117ページ)を参照して、PhotoLoaderをインストールしてください。
- 画像をレタッチ(加工)したい
  ....「ソフトをインストールする」(117ページ)を参照して、Photohandsをインストールしてください。

メモリーカードを直接接続して取り込む

パソコンとのファイルのやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

- SDメモリーカードスロットのある機種
  SDメモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)を使用します。
  具体的な使用方法はPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)とパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

- 前記以外の機種

1) 市販のSDメモリーカード用リーダー／ライターを使用します。具体的な使用方法はSDメモリーカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。

2) 市販のPCカード用リーダー／ライターと市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)を使用します。具体的な使用方法はPCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)に付属の取扱説明書を参照ください。

メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF(Design rule for Camera File system)規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンターなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のディレクトリ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

メモリー内のディレクトリ構造

■ディレクトリ構造

<¥DCIM¥>	(DCIMフォルダ)
100CASIO	(記録フォルダ)
CIMG0001.JPG	(画像ファイル)
CIMG0002.AVI	(ムービーファイル)
⋮	
101CASIO	(記録フォルダ)
102CASIO	(記録フォルダ)
⋮	
ALBUM	(アルバムフォルダ)
INDEX.HTM	(アルバムのHTMLファイル)
⋮	
<¥FAVORITE¥> ※	(お気に入りフォルダ)
CIMG0001.JPG	(記録ファイル)
CIMG0002.JPG	(記録ファイル)
⋮	
<¥MISC¥>	(DPOFファイルを収めたフォルダ)
AUTPRINT.MRK	(DPOFファイル)
<¥SCENE¥> ※	(ベストショット用フォルダ)
UQR40001.JPE	(カスタム登録されたシーンファイル)
UQR40002.JPE	(カスタム登録されたシーンファイル)
⋮	

※ 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

■フォルダ／ファイルの内容

- DCIMフォルダ
  デジタルカメラで扱うファイル全てを収めたフォルダです。
- 記録フォルダ
  デジタルカメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。
  拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル
  デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。
  拡張子は「AVI」です。
- アルバムフォルダ
  アルバム機能で使用するファイルを収めたフォルダです。
- アルバムのHTMLファイル
  アルバム機能で使用するファイルです。拡張子は「HTM」です。
- お気に入りフォルダ
  お気に入りの画像ファイルを収めたフォルダです。
  320×240pixelsの画像として収められています。
- DPOFファイルを収めたフォルダ
  DPOFファイルなどを収めたフォルダです。
- ベストショット用フォルダ(内蔵メモリーのみ)
  カスタム登録されたシーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録されたシーンファイル(内蔵メモリーのみ)
  ベストショットモードで使用されるファイルです。

このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- QV-R40で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

※ DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときの注意点

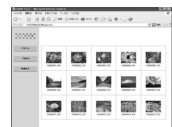
- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は"DCIM"フォルダごと保存してください。その際"DCIM"フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で"DCIM"に戻してからご使用ください。本機では"DCIM"以外の名前のフォルダは認識されません。"DCIM"フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- 一度パソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどにファイルを保存したあとのメモリーは、中のファイルをすべて削除するか、デジタルカメラでフォーマットしてからご使用になることをおすすめします。なお、メモリーをフォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去されますので、フォーマットする際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。

パソコンでファイルを活用する

アルバム機能を使用するとパソコンにアルバム形式で画像を表示させることができます。また、付属のCD-ROM内に収録されているソフトウェアをインストールすることで、パソコンでのファイルの自動取り込みや画像のレタッチをすることができます。

アルバム機能

アルバム機能とは、本機で撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、ホームページ上で一覧表示したり、印刷することができる機能です。

アルバム

一覧表示

情報表示

- 本機で作成したアルバムは、次のWebブラウザで見たり、印刷することができます。ただし、Windows 2000／98で動画を再生する場合はDirect Xが必要です。

  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5以上

アルバムを作成する

1. **PLAYモードにして【▲】(🌷 📖)を押します。**

レイアウト見本

2. **【▲】【▼】で"作成"を選び、【SET】を押します。**

- アルバムの作成を開始し、"処理中です　しばらくお待ちください"と表示します。
- アルバムの作成が終了すると、アルバム作成メニューに入る前の画面に戻ります。
- アルバムを作成すると、内蔵メモリーまたはメモリーカード内の"ALBUM"フォルダの中に"INDEX.HTM"ファイル、その他アルバム用のファイルが作成されます。

重要!
- アルバム作成中に次の操作を行うと、アルバム用のファイルが作成されないばかりでなく、画像データ等のメモリー内のデータが破壊される恐れがあります。アルバム作成中は、下記の操作は絶対に行わないでください。
  －【電池カバー】を開ける
  －メモリーカードを抜く
  －その他異常操作
- アルバム作成中にメモリーが一杯になったときは、"メモリがいっぱいです"と表示した後、アルバムの作成を中止します。
- 電池が切れかかっているときは、アルバムが正常に作成されない場合があります。
- アルバムの詳細設定で"自動作成"をする／しないのどちらに設定していても、【SET】を押すと、アルバムの作成を自動的に開始します(114ページ)。

アルバムのレイアウトを選ぶ

10種類のレイアウトの中から、表示したときのレイアウトを選ぶことができます。

1. **PLAYモードにして【▲】(🌷 📖)を押します。**

2. **【▲】【▼】で"レイアウト"を選びます。**

3. **【◀】【▶】で、表示したいレイアウトを選びます。**

- 【◀】【▶】を押すと、画面右横のレイアウト見本が切り替わります。

重要!
- レイアウト見本上に表示されるのはアルバムのレイアウトおよび背景色です。一覧／情報表示付きかどうかや用途の内容(閲覧／WEB／プリント)は表示されません。